

2023年 8月 6日 《誕生祝福式》

主 日 礼 拝

司 会 ②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 ②石井 秀人兄

賛 美 聖歌502番「わが主はまことの牧者」

～ほめよイエスの御名を／み救いは主にある～

パウロの祈り②

聖書朗読 詩篇27篇1～14節

特別賛美 ネイサン・ブルックス宣教師

メッセージ 「たった一つの希望が人生を救う」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌396番 ～ただ一つの願い～

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛 美 賛美「見よ、わたしは新しいことをする」

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを感謝します！午後は聖書の学び会（ヘブル2章/小山姉）。

☆今週の祈り会：○早天祈祷会、明朝6時。 ◎木曜祈祷会：①午前10時半
（大和祈祷会ライブ映像）。②夜7時半。 ○準備祈祷会：土曜夜8時。

★来週日曜礼拝では聖餐式が行われます！（司会：白川兄/祈り：石井姉）。

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [8/6-13]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	詩篇 54-60	61-67	68-71	72-77	78-80	81-87	88-91	92-101
チェック	○○○○○ ○○	○○○○○ ○○	○○○○ ○○○	○○○○ ○○	○○○	○○○○○ ○○	○○○○	○○○○○ ○○○○○

「たった一つの希望が人生を救う」

～主ご自身の前にひざまずく～

The Master said, “Martha, dear Martha, you’re **fussing** far too much and getting yourself worked up over nothing. One thing only is essential, and Mary has chosen it—it’s the main course, and won’t be taken from her.”[MSG]

しかし主は、マルタに言われました。「マルタ。あなたは、あまりにも多くのことに気を遣いすぎているようです。でも、どうしても必要なことはただ一つだけです。マリヤはそれを見つけたのです。彼女からそれを取り上げてはいけません。」[LB] ルカ10章41-42節

詩篇27篇4節でダビデが求めた”One Thing(一つの事)”とは、神様ご自身を求めることでした。ルカ10章41節で主が語られたマリヤが選んだ”One Thing(一つの事)”も主の足もとに座って、御言葉に聴き入ること。まさに、主ご自身を求めることでした。

私たちは日常生活の中であまりにも多くのことに心を配って、マルタのように何かを一生懸命にしているかもしれませんが、無用な中身のない(fussing)生き方になってしまうことがあります。そんなときには、心を静めて、マリヤのように、主の足もとに座って御言葉に聴き入る者となる必要があります。マルタもこの主の言葉を受けて立ち止まって、妹のマリヤと共に、主のメッセージを聴くようになったことでしょう。

私たちは人生、生活の中で、何か答えを求めて生きています。その答えが、自分の中や人々の中にあると思って捜し求めています。実はその答えは、主の中に、主の御言葉の中に隠されているということを知りたいと思います。

しかし、その答えが中々見つけ出せないことがあります。今回私自身が詩篇をじっくり読み、必死に食らいついていく中で、発見した御言葉は、「わたしは耐え忍んで主を待ち望んだ」というみことばです。37篇7節「主の前にもだし(静まる/黙る)、耐え忍びて主を待ち望め」と40篇1節「わたしは耐え忍んで主を待ち望んだ。主は耳を傾けて、わたしの叫びを聞かれた」です。私たちは賛美や祈りの中で、よく「わたしはあなたを待ち望みます！」と簡単な感じで宣言します。しかし、ダビデが信仰生活の中で発見したことは、主を待ち望むということは物凄い忍耐をしながら、必死になって主を求めたことが表現されています。主に委ねる、主に信頼するということはそう簡単にはできるものではないということ。たった一つの事「One Thing」を見つげ出すということはそう簡単なことではないということを知ることができました。

主は優しくマルタに教えられました。主に教えて頂けたマルタは本当にラッキーだったと思います。自分では決してそう簡単にはその真理を発見することはできなかったであろうから。それにしてもマリヤは簡単に見つけ出せていました。人によっても異なるのかもしれませんが。比較しても仕方ないですが、主は様々な方法をもって、私たち一人一人に、真理を知って欲しい、真理に対して目が開かれて欲しいと願っておられます。そして、最終的に私たち一人一人が、主ご自身の元に座って、心から飢え渴いて御言葉を慕うことを願っておられるのです。